



194

小学校高学年 （高校生向け） 年組

年組

設問

【1】Aにはアルファベットが入ります。記事をよく読んで、適語を答えましょう。

【2】Bに入る数字として適するものに○をつけましょう。

100 150

【3】先進7カ国（G7）男女共同参画・女性活躍担当相会合は何市で開かれましたか。

【4】○か×で答えましょう。
「4月1日現在の県人口は195万人である。」

【5】猛暑日とは、最高気温何度以上の日のことですか。また、最も多かったのは何市で何日ですか。

（2023年12月20日付・下野新聞1面）

記事は加工しています

2位は本県誕生B年

14観測地点の6地点で今年の年間猛暑日（最高気温35度以上）日数が過去最多を更新だった。最多は佐野の計42日、次いで小山、真岡の30日、今夏は県内も地球温暖化の時代を感じさせた。

得点は、応募者がつけた順位を1位10ポイント、10位1ポイントとして集計した。応募総数は、はがき2611、20位は次の通り。

14観測地点の6地点で今年の年間猛暑日（最高気温35度以上）日数が過去最多を更新だった。最多は佐野の計42日、次いで小山、真岡の30日、今夏は県内も地球温暖化の時代を感じさせた。

得点は、応募者がつけた順位を1位10ポイント、10位1ポイントとして集計した。応募総数は、はがき2611、20位は次の通り。

2通と下野新聞公式ホームページ「SOON」を通じて323件の計585件だった。30日に特集を掲載する。11、20位は次の通り。

①那須雪崩事故を巡る遺族の損害賠償訴訟で県、県高体連に賠償を命じる宇都宮地裁判決②自動車用ナビアプリの「日光」追加③足尾銅山閉山から50年④全日制12校を統合し計5校にするなど、第3期県立高校再編前期実行計画案発表⑤

県議選投票開票。自民党過半数維持、女性是最多の9人当選、投票率38・02%は最低⑥スポーツクライミング世界選手権男子複合で櫛崎智亜3位、パリ五輪内定⑦足利市の住宅に強盗、県警は強盗傷害容疑などで19歳の男3人を逮捕⑧足利市などが名刀「山姥切国広」購入を発表⑨本県最低賃金を1時間当たり41円引き上げ954円に改定⑩新型コロナウイルスワクチン接種後に死亡した小山市民に救済制度に基づく県内初の一時金給付認定

（ ）は掲載日

抽選の結果、商品券（1万円分）の当選者5人のほか、クオカード（千円分）と下野新聞社キャラクターグッズセットの当選者各30人が決まりました。発表は、発送をもって代えさせていただきます。

◇

◇

「県内十大ニュース」決定

A 開業が1位に

2023年県内十大ニュース

順位	内容	得点
1	宇都宮市と芳賀町を結ぶ次世代型路面電車（LRT）が開業、営業運転を始めた（8月27日）。利用者数は堅調に推移する一方、乗用車との接触事故も起きた	4,597
2	1873（明治6）年6月15日、当時の栃木県と宇都宮県が合併して今の栃木県が誕生し、150年を迎えた（6月15日）	3,138
3	今年の猛暑日は県内全14観測地点のうち6地点で年間日数の過去最多を更新。佐野は42日、小山と真岡は30日だった（10月3日）	2,497
4	第95回記念選抜高校野球大会の出場校に作新学院と石橋の2校が選ばれた。作新学院は6年ぶり、21世紀枠の石橋は初出場。県勢の2校選出は2014年以来、4度目（1月28日）	2,247
5	将棋の第48期棋王戦5番勝負第4局が日光市で指され、藤井聡太五冠が棋王を獲得。20歳8カ月で最年少六冠となった（3月20日）	1,759
6	先進7カ国（G7）男女共同参画・女性活躍担当相会合が日光市で開かれ、経済面でのジェンダー（社会的性差）格差の解消などを訴える「日光声明」を採択した（6月25、26日）	1,742
7	4月1日現在の県人口が189万8513人となり、約35年ぶりに190万人を下回ったことが県の毎月人口推計で分かった（4月28日）	1,517
8	上三川町でレンタカーの車内から女性の遺体が見つかり、県警は死体遺棄容疑で埼玉県熊谷市の男を現行犯逮捕（10月20日）。遺体は女子高生で、殺人容疑などで再逮捕した	1,153
9	2024年産の本県イチゴ「とちあいか」の作付面積が、速報値で244㌥と前年から倍増。初めて「とちおとめ」を上回った（10月6日）	1,046
10	那須町の朝日岳（1896㍎）の登山道付近で、遭難した65～79歳の男女4人の遺体が見つかった（10月8日）。死因は低体温症だった	1,013

（ ）は掲載日

1位は、国内の路面電車開業としては75年ぶり、全線新設の次世代型路面電車（LRT）としては初めての、宇都宮、芳賀両市町を結ぶLRT開業。開業当日の歓迎イベントは全国からの約2万人が詰めかけた。開業後も小学生の社会科見学や団体の視察が続くなど注目を集め、得点は2位以下を大きく引き離れた。

2位は、明治時代初め、当時の栃木、宇都宮両県が合併して生まれた現在の栃木県の誕生150年だった。世界を驚かした新型コロナウイルスが国内では感染症法の5類に移行した年に、新たな時代の訪れを感じさせるニュースが上位に並んだ。

3位は、気象庁の県内全